

皆さん、おはようございます。今日は2学期の終業式、あと10日余りで令和7年も終わり、新しい年を迎えます。いつものことながら、皆さんにとっての2学期を振り返ってみて、自分で自分をほめることができる2学期だったでしょうか。2学期は、女性初の高市新総理の誕生や国内でクマが頻繁に出没する、各地で大規模な火災等が起きるなどのニュースがありましたが、本校においては、創立80周年記念式を無事に行うことができ、また記念講演会では素晴らしい先輩方のお話を聞くことができました。さらに、農業クラブ全国大会農業鑑定競技で優秀賞になった太田くん、全日本ホルスタイン共進会リードマンコンテストで6位になった山根くん、県新人大会団体優勝及び個人戦の上位独占の相撲部、愛媛県総合文化祭で優秀賞をとった箏曲部、などのうれしいニュースがありました。

また、先日本校のHPで、農業の実習中に収穫した野菜に顔を書いてみたり、サツマイモの表面がハート形になっているのを見つけたりして、ほっこりしているといった記事に出会いました。幕末の志士・高杉晋作が「おもしろきこともなき世をおもしろく」と詠んだのは有名ですが、この句の下の句は「住みなすものは心なりけり」です。つまり、「毎日の生活は面白いことは少ないけれども、それを面白くするのは自分の心だよ」といった意味です。まさしくホームページのその記事は、毎日の生活のちょっとしたことを捉えて、自分で面白みを加えている、すばらしい視点を持っていると感じました。先日ロケに来てくれた「さらば青春の光」のお二人も毎日を面白くする達人だと感じました。つまらないと勝手に判断して、端からやらないではなく、やってみてから、面白くする工夫をしてから、判断する、そういう気持ちで皆さんの毎日を少しづつ彩ってほしいと思います。

年末年始は何かと気忙しい時期ですが、3年生にとっては正念場、ここでの頑張りが入試の結果を左右します。受験勉強を辛いものとせず、1問正解したら自分をほめて、正解を重ねていくこと、頑張ることを楽しんでみてください。また、下級生の皆さん、進路が決まっているさんは、普段はできない家の手伝いなど、家族と過ごす時間を大切にするとともに、いろいろなことを面白がって捉える、そんな練習をしてみてください。

皆さん一人一人が野村高生だと胸を張ってルールの中で楽しむ生活を心がけ、新年を迎えて、心を新たにした皆さん全員と、1月8日に再会できることを心から期待して、式辞といたします。

令和7年12月19日

愛媛県立野村高等学校長 松井 由紀子